

# 2019年3月期 第2四半期 決算説明会

**OCHIホールディングス株式会社**



**2018年12月5日**

# 会社概要

## 経営理念

住生活に関するビジネスを基軸として、  
生活文化の向上と地球環境の保全に貢献します。

## 会社概要

代表者	越智 通広
本社所在地	福岡市中央区那の津三丁目12番20号
設立	2010年10月1日
資本金	4億円
発行済株式総数	13,610,970株
業種別分類	卸売業
証券コード	3166 (東証1部・福証)
銘柄略称	OCHI・HD
売買単位	100株
グループ従業員数	1,253名(2018年9月30日現在)

## 沿革

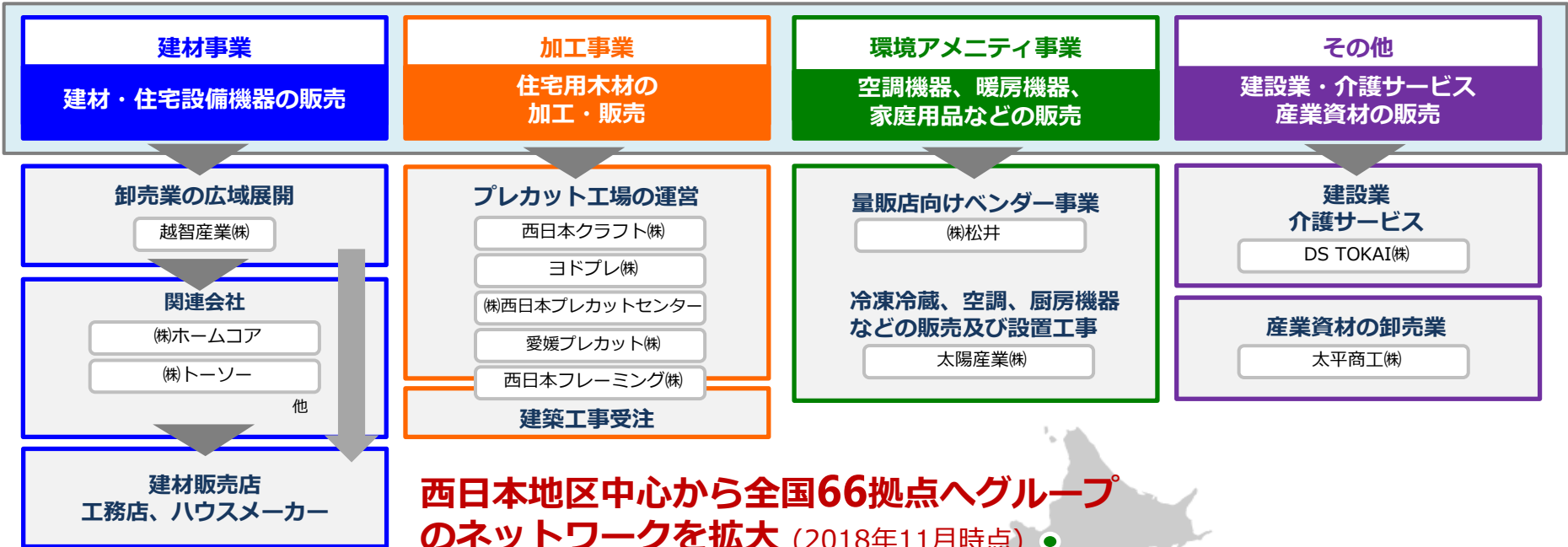
1955年 5月	木材及び合板等の建築材料の販売を目的として、福岡市で越智商店を創業
1958年10月	(株)越智商店設立
1970年 6月	越智産業(株)に商号変更
1996年 2月	福岡証券取引所に上場
2010年10月	越智産業(株)の株式移転によりOCHIホールディングス(株)設立、持株会社体制へ移行、福岡証券取引所に上場
2013年11月	東証2部上場
2014年11月	東証1部へ市場変更
2014年12月	DS TOKAI(株)を子会社化し、中京圏での建設事業、介護サービス事業へ進出
2016年10月	太平商工(株)を子会社化し、産業資材の販売へ進出
2018年 8月	冷熱環境器材の販売を行なう太陽産業(株)を子会社化

## 住宅資材卸売ランキング

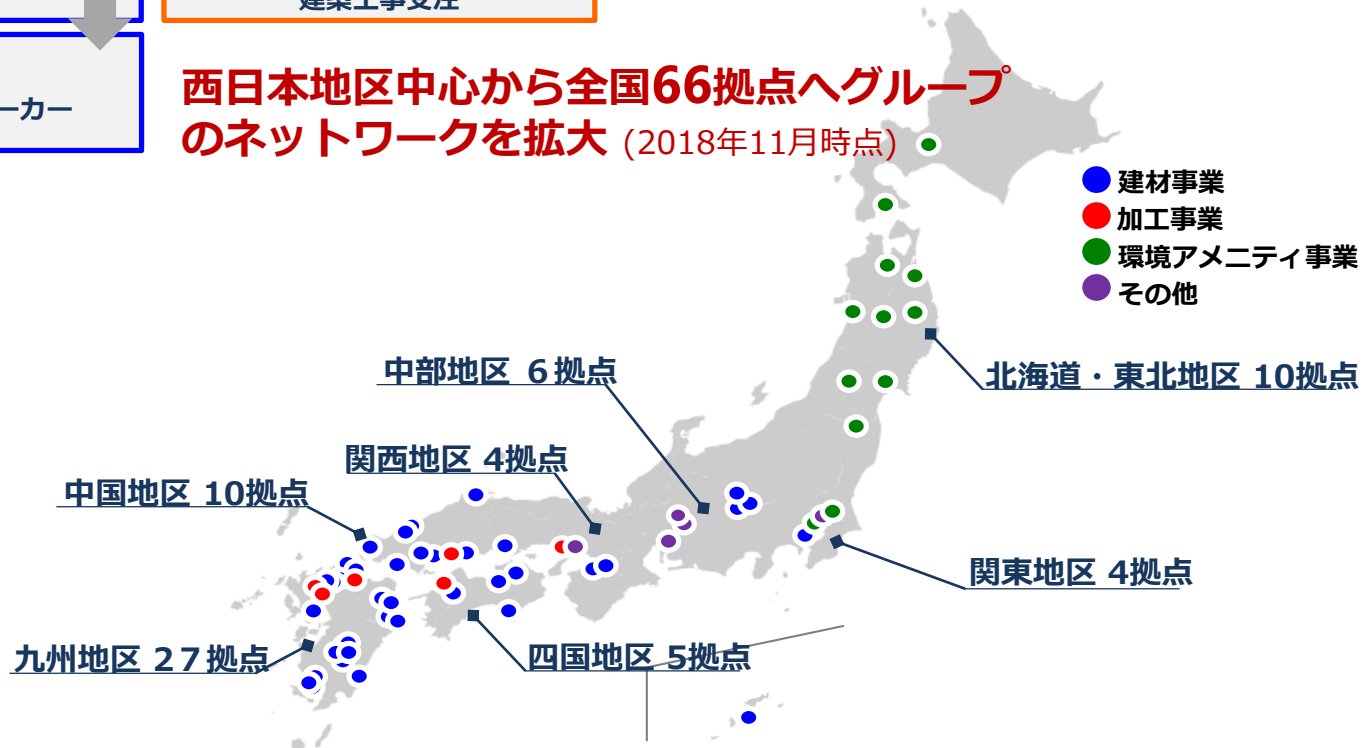
### 2018年3月期連結

### 2019年3月期 第2四半期累計

順位	会社名	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
1	J Kホールディングス(株)	346,137	5,003	1.4%	172,585	2,332	1.4%
2	すてきナイスグループ(株)	239,536	675	0.3%	105,883	▲1,679	—
3	ジューテックホールディングス(株)	156,534	1,230	0.8%	76,495	464	0.6%
4	<b>OCHIホールディングス(株)</b>	<b>95,028</b>	<b>1,934</b>	<b>2.0%</b>	<b>49,498</b>	<b>726</b>	<b>1.5%</b>
5	(株)クワザワ	90,372	905	1.0%	43,450	252	0.6%



西日本地区中心から全国66拠点へグループのネットワークを拡大 (2018年11月時点)

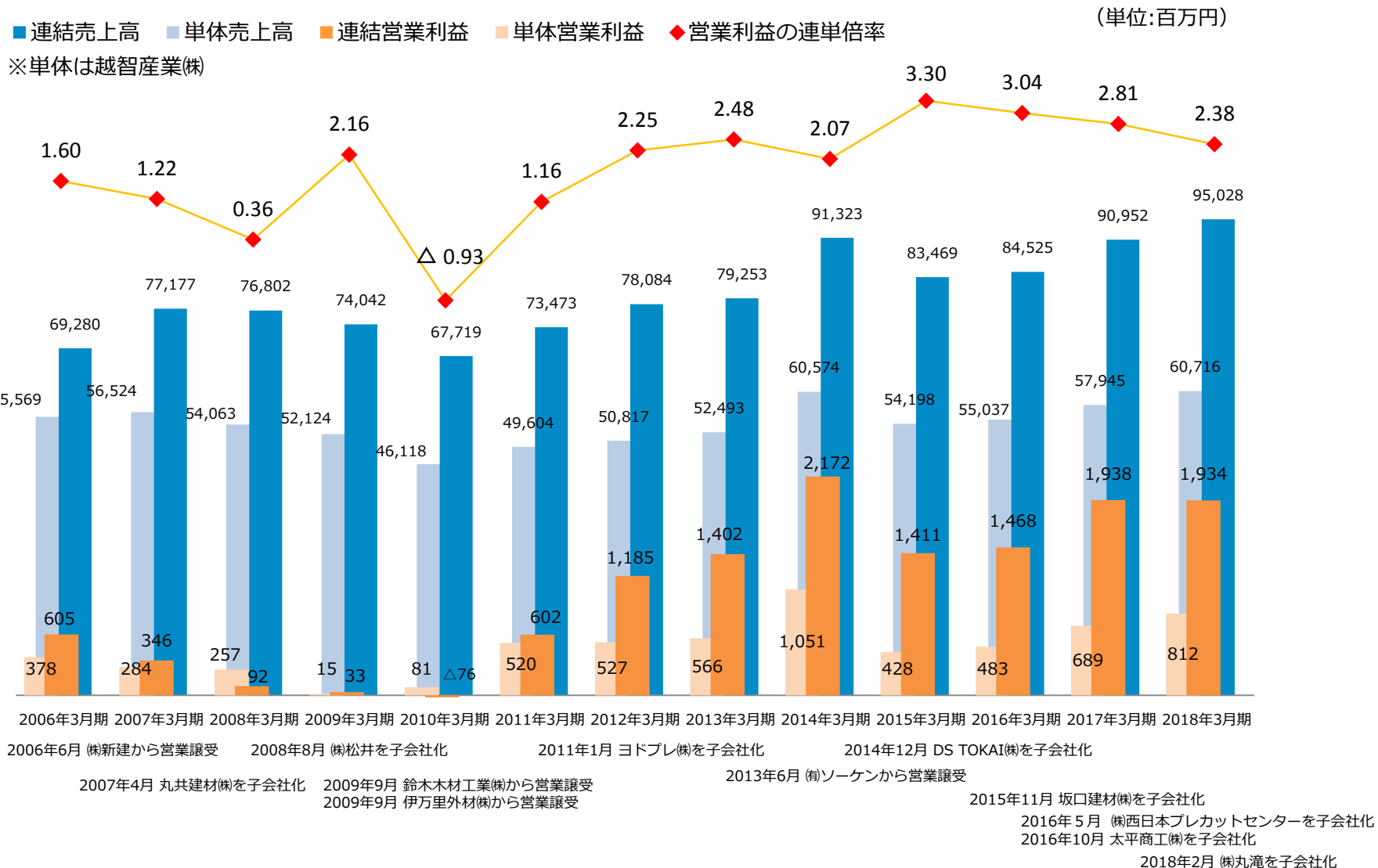


商号	 <b>太陽産業株式会社</b> <a href="http://www.taiyo-sangyo.com">http://www.taiyo-sangyo.com</a>
創業	1962年（昭和37年）
設立	2005年（平成17年）
資本金	50百万円
従業員数	62名
本社	宮城県仙台市宮城野区扇町 7丁目1番20号
事業拠点	(支店) 仙台、東京 (営業所) 福島、山形、盛岡、青森、 八戸、秋田
事業内容	冷凍冷蔵、空調、厨房機器、環境・ 省エネ機器などの販売及び設置工事
売上高	6,697百万円（2018年3月期）



## M & Aで子会社化した企業を確実に収益化することで、連結業績の拡大に成功

### 2018年3月期は越智産業(株)の業績が相対的に好調で、連単倍率はやや低下



# 2019年3月期 第2四半期 決算概況

## M&A効果で増収となるも、人件費、物流費等の増加で減益

### 売上高

**49,498**百万円

計画比 100.6%

- 2018年4~9月の持家・分譲戸建住宅の着工戸数は、前年同期比0.5%増
- 計画外で太陽産業(株)の売上高17.3億円を計上した「環境アメニティ」及び「その他」で、売上高の予算を達成
- 「建材」及び「加工」は、豪雨や大型台風等の影響もあり、予算未達
- M & Aの寄与分を除いた前年同期比では、0.7%の増収

### 営業利益

**726**百万円

計画比 71.9%

- 「建材」、「加工」、「環境アメニティ」の各事業において、営業利益の予算未達
- 「その他」では、介護事業の高稼働率と建設業の売上増加により、予算を達成
- M & Aの寄与分を除いた前年同期比では、人件費、物流費等の増加により、23.1%の減益

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

**536**百万円

計画比 76.6%

- 予算を大幅に未達
- 一部の政策保有株式の売却で特別利益9百万円を計上



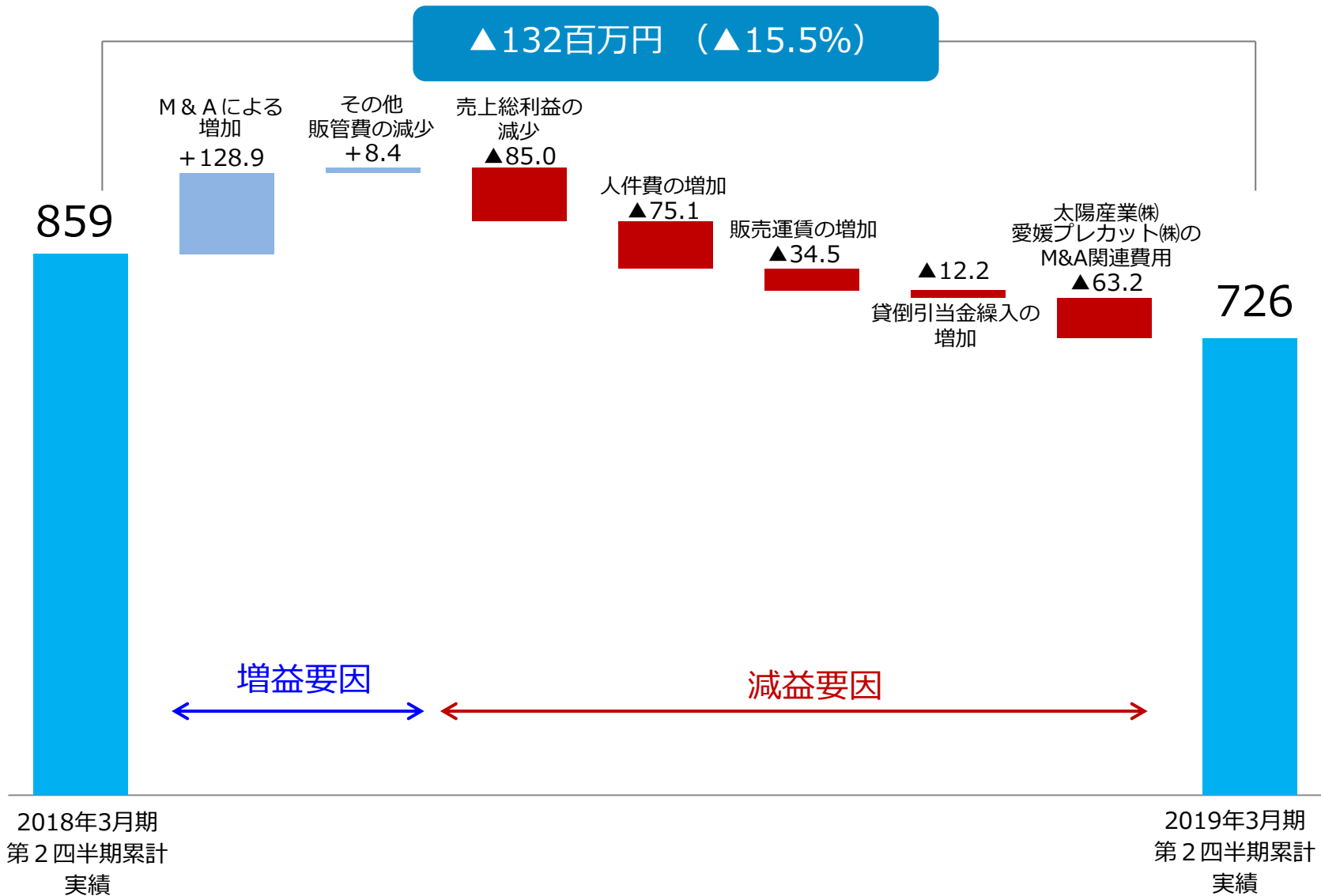
単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	45,555 (100.0%)	49,498 (100.0%)	3,942	108.7%	49,200 (100.0%)	298	100.6%
売上総利益	5,485 (12.0%)	5,918 (12.0%)	433	107.9%	6,094 (12.4%)	▲175	97.1%
販売管理費	4,626 (10.2%)	5,192 (10.5%)	566	112.2%	5,084 (10.3%)	108	102.1%
営業利益	859 (1.9%)	726 (1.5%)	▲132	84.5%	1,010 (2.1%)	▲283	71.9%
経常利益	937 (2.1%)	848 (1.7%)	▲88	90.6%	1,090 (2.2%)	▲241	77.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	665 (1.5%)	536 (1.1%)	▲129	80.5%	700 (1.4%)	▲163	76.6%

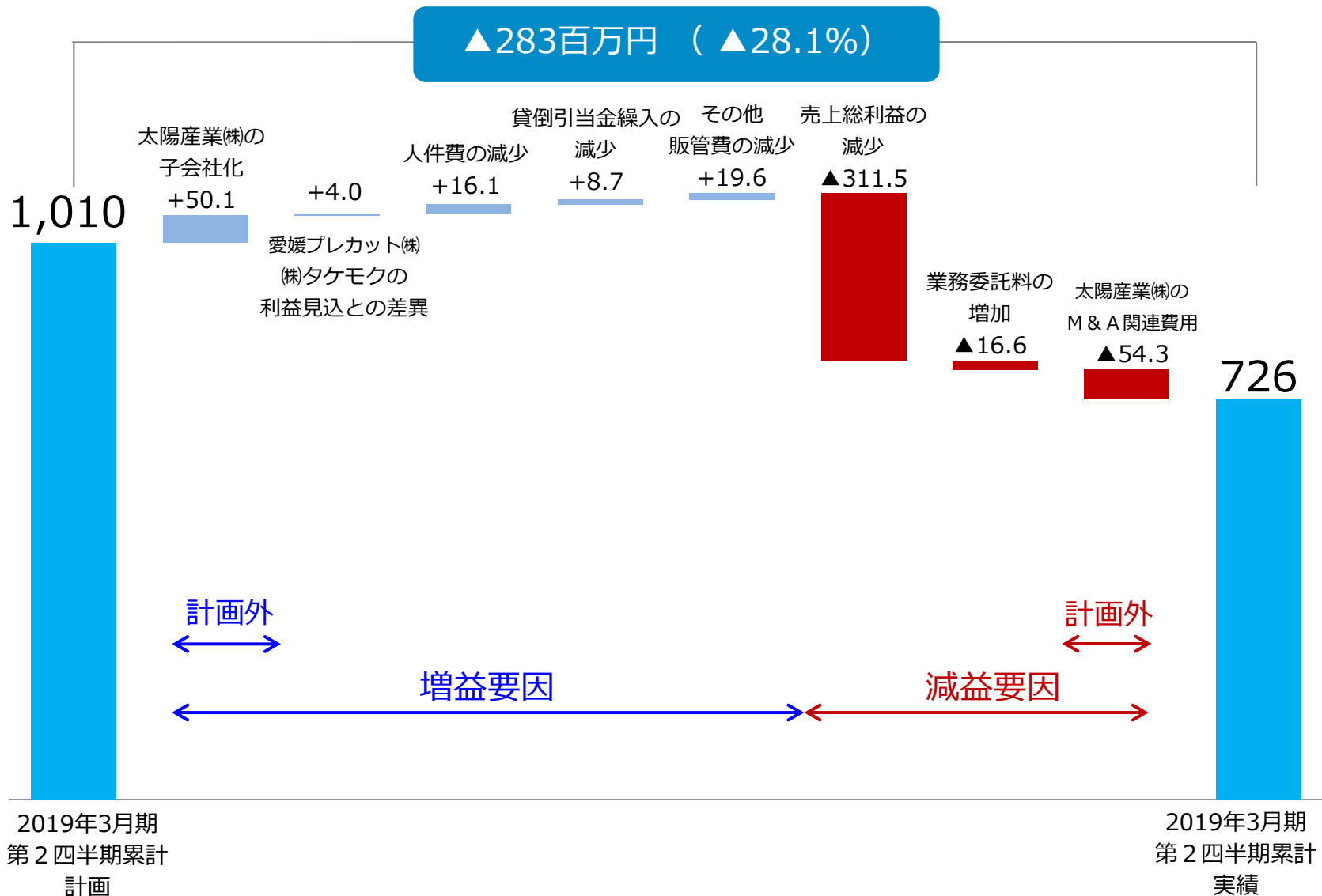
## 主な特別利益／損失

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	備考
投資有価証券売却益	0	9	政策保有株式の見直しの一環
出資金清算益	84	—	
特別利益合計	87	23	
固定資産売却損	0	2	
固定資産除却損	0	0	
特別損失合計	0	3	

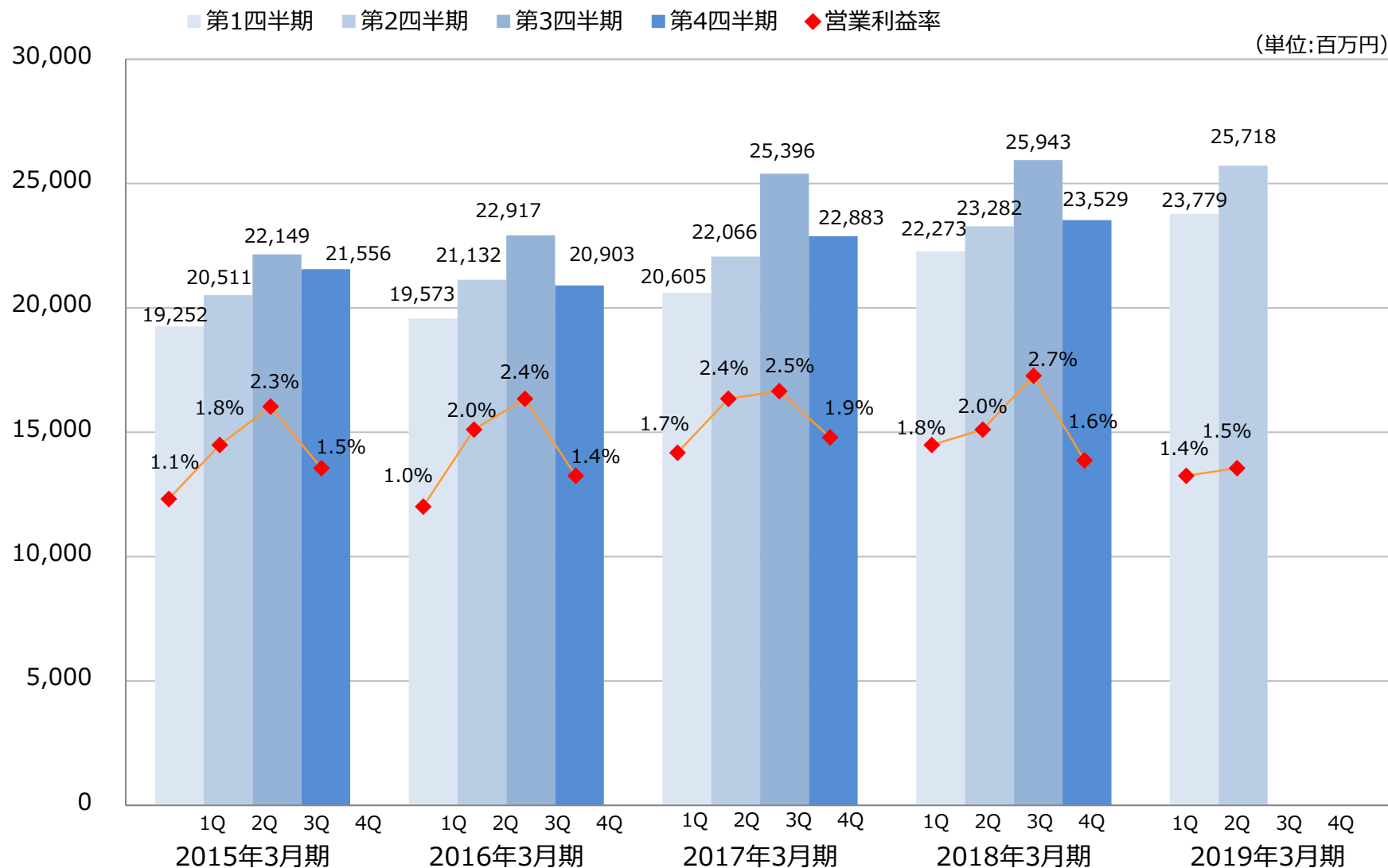
(単位:百万円)



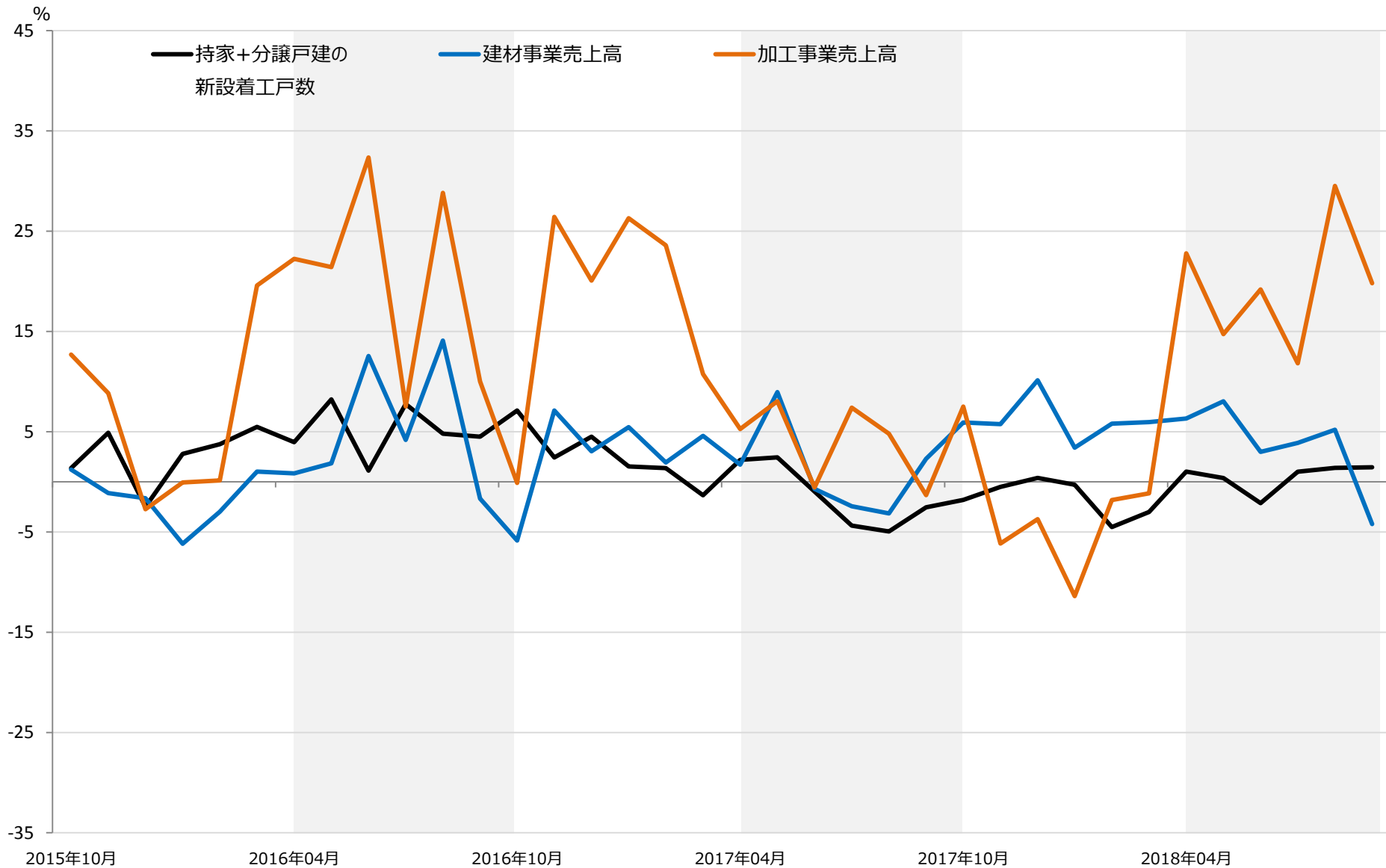
(単位:百万円)



# 四半期売上高の推移



# 前年同月比 年率推移（全国）



# セグメント別の損益

単位:百万円、( )内は構成比  
 < >は各セグメントの営業利益率

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	45,555 (100.0%)	49,498 (100.0%)	3,942	108.7%	49,200 (100.0%)	298	100.6%
建材事業	33,168 (72.8%)	34,346 (69.4%)	1,178	103.6%	35,655 (72.5%)	▲1,308	96.3%
加工事業	6,445 (14.1%)	7,696 (15.5%)	1,250	119.4%	7,967 (16.2%)	▲271	96.6%
環境アメニティ事業	3,768 (8.3%)	5,132 (10.4%)	1,364	136.2%	3,508 (7.1%)	1,623	146.3%
その他	2,368 (5.2%)	2,495 (5.0%)	126	105.3%	2,343 (4.8%)	151	106.5%
部門間調整	▲194	▲172	22	—	▲275	103	—
営業利益	859 (1.9%)	726 (1.5%)	▲132	84.5%	1,010 (2.1%)	▲283	71.9%
建材事業	675 <2.0%>	654 <1.9%>	▲21	96.9%	823 <2.3%>	▲169	79.5%
加工事業	318 <4.9%>	257 <3.3%>	▲61	80.8%	366 <4.6%>	▲108	70.4%
環境アメニティ事業	58 <1.6%>	12 <0.2%>	▲46	20.6%	39 <1.1%>	▲27	30.9%
その他	70 <3.0%>	62 <2.5%>	▲7	89.1%	43 <1.9%>	19	144.7%
部門間調整	▲264	▲260	3	—	▲262	1	—

単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	33,168	34,346	1,178	103.6%	35,655	▲1,308	96.3%
売上総利益	3,483 (10.5%)	3,653 (10.6%)	169	104.9%	3,837 (10.8%)	▲184	95.2%
営業利益	675 (2.0%)	654 (1.9%)	▲21	96.9%	823 (2.3%)	▲169	79.5%

- M&Aの寄与分を除いた前年同期比では、1.6%の増収となったが、営業利益については人件費や物流費の増加などにより8.4%の減益
- 2018年2月、4月にそれぞれ子会社化した(株)丸滝、(株)タケモクの寄与分（計画内）は、合計で売上高6.5億円、営業利益35百万円
- 7～9月に発生した豪雨や大型台風等の自然災害の影響で工事進捗や物流の遅延が発生したことなどから、第2四半期には業績が減速し、売上高は予算未達
- 営業利益についても、売上高の予算未達に加えて、物流費の増加などにより、予算未達

単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	6,445	7,696	1,250	119.4%	7,967	▲271	96.6%
売上総利益	1,138 (17.7%)	1,202 (15.6%)	63	105.6%	1,420 (17.8%)	▲218	84.6%
営業利益	318 (4.9%)	257 (3.3%)	▲61	80.8%	366 (4.6%)	▲108	70.4%

- M&Aの寄与分を除いた前年同期比では、売上高は0.1%減と横ばい。営業利益については、一部の資材価格の値上がりを販売価格に転嫁できなかったこと、製造や管理部門の人件費が増加したことなどから、30.0%の減益
- 2018年5月に子会社化した愛媛プレカット(株)の寄与分(6ヶ月、計画内)は、売上高12.6億円、営業利益35百万円(M&A関連費用9百万円控除後)
- 建材事業と同様に、自然災害の影響などから、第2四半期には業績が減速し、売上高は予算未達
- 営業利益についても、売上高の予算未達に加えて、一部の資材価格の値上がりなどにより、予算未達



単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	3,768	5,132	1,364	136.2%	3,508	1,623	146.3%
売上総利益	501 (13.3%)	698 (13.6%)	197	139.4%	492 (14.0%)	205	141.7%
営業利益	58 (1.6%)	12 (0.2%)	▲46	20.6%	39 (1.1%)	▲27	30.9%

- M&Aの寄与分を除いた前年同期比では、季節家電の販売が一部商品の商流変更により減少したこと、北海道地区において9月に発生した地震に伴う大規模停電の影響で仕入・販売に数日間、支障をきたしたことなどから、9.6%の減収。営業利益については、72.4%の減益
- 2018年8月に子会社化した太陽産業(株)の寄与分（3ヶ月、計画外）は、売上高17.3億円、営業利益△4百万円（M&A関連費用54百万円控除後）

単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期増減	前年同期比	計画	計画増減	計画比
売上高	2,368	2,495	126	105.3%	2,343	151	106.5%
売上総利益	363 (15.3%)	363 (14.6%)	0	100.1%	344 (14.7%)	18	105.4%
営業利益	70 (3.0%)	62 (2.5%)	▲7	89.1%	43 (1.9%)	19	144.7%

- 前年同期比では、建設業の売上増加などにより増収となったが、営業利益については産業資材の販売において物流費などの販管費が増加し、減益
- 売上高、営業利益とも予算達成。利益面では、高稼働率を維持した介護事業と売上が増加した建設業が貢献

# 貸借対照表



(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期 第2四半期	
			増減
現金及び預金	7,312	7,223	▲89
売上債権	20,063	22,034	1,971
商品	2,720	3,531	811
未成工事支出金	859	843	▲15
その他流動資産	405	478	73
貸倒引当金	▲19	▲55	▲35
<b>流動資産</b>	<b>31,340</b>	<b>34,056</b>	<b>2,715</b>
有形固定資産	9,854	11,698	1,844
無形固定資産	277	1,156	879
投資その他の資産	5,895	6,323	428
<b>固定資産</b>	<b>16,026</b>	<b>19,179</b>	<b>3,152</b>
<b>資産合計</b>	<b>47,367</b>	<b>53,235</b>	<b>5,867</b>

	2018年3月期	2019年3月期 第2四半期	
			増減
仕入債務	26,039	27,365	1,325
短期借入金・一年内社債	2,093	3,223	1,130
その他流動負債	2,205	2,482	276
長期借入金・社債	1,734	3,969	2,234
退職給付に係る負債	149	427	278
その他固定負債	1,367	1,633	265
<b>負債</b>	<b>33,590</b>	<b>39,102</b>	<b>5,511</b>
株主資本	13,164	13,566	402
その他の包括利益累計額	583	535	▲47
非支配株主持分	29	30	1
<b>純資産</b>	<b>13,777</b>	<b>14,133</b>	<b>356</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>47,367</b>	<b>53,235</b>	<b>5,867</b>
自己資本比率	29.0%	26.5%	▲2.5%

(単位:百万円)

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	146	35	税引前当期純利益+869 法人税等の支払額▲417 たな卸資産の増加額▲415
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	▲2,270	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出▲2,019
フリー・キャッシュ・フロー	147	▲2,235	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲714	2,150	長期借入れによる収入+3,000 長期借入金の返済による支出▲513
現金及び現金同等物の増減額	▲566	▲85	
現金及び現金同等物の期首残高	6,631	7,168	
現金及び現金同等物の期末残高	6,065	7,083	

# 2019年3月期 業績予想と取組み

- 中期的には、子会社や拠点の統合等の経営効率化とM&Aの継続により、収益力の拡大を図る
- 短期的には、増加が見込まれる需要の取り込みを最優先し、利益の積み上げを図る

※ 参考 前回の消費増税前の売上高の対前期増加額 2014年3月期 120億円 (内訳 建材 98億円 加工 20億円)

単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期			
		第2四半期累計 実績	計画進捗率	通期計画	前期比
売上高	95,028 (100.0%)	49,498 (100.0%)	48.8%	101,500 (100.0%)	106.8%
売上総利益	11,389 (12.0%)	5,918 (12.0%)	47.4%	12,496 (12.3%)	109.7%
販売管理費	9,455 (10.0%)	5,192 (10.5%)	50.6%	10,266 (10.1%)	108.6%
営業利益	1,934 (2.0%)	726 (1.5%)	32.6%	2,230 (2.2%)	115.3%
経常利益	2,065 (2.2%)	848 (1.7%)	35.7%	2,380 (2.3%)	115.2%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,361 (1.4%)	536 (1.1%)	34.6%	1,550 (1.5%)	113.8%

単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期			
		第2四半期累計 実績	計画進捗率	通期計画	前期比
売上高	69,725	34,346	46.9%	73,300	105.1%
売上総利益	7,323 (10.5%)	3,653 (10.6%)	46.3%	7,896 (10.8%)	107.8%
営業利益	1,507 (2.2%)	654 (1.9%)	37.0%	1,770 (2.4%)	117.4%

- 自然災害により売上が減少した第2四半期の反動増や、消費増税に伴う駆け込み需要の顕現化など、事業環境の好転を見込む

主な施策

- 耐震・ZEHなどの高機能商材の普及促進
- リフォーム・リノベーション需要の掘り起こし  
→ 対象：戸建住宅、マンション、賃貸住宅、非住宅
- 木造非住宅市場への取り組み強化
- 工事業者の組織化などによる工事力強化  
→ 越智施工工事店ネットワーク（OSK） 正会員29社 賛助会員24社

単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期			
		第2四半期累計 実績	計画進捗率	通期計画	前期比
売上高	13,131	7,696	46.3%	16,613	126.5%
売上総利益	2,300 (17.5%)	1,202 (15.6%)	41.3%	2,909 (17.5%)	126.5%
営業利益	632 (4.8%)	257 (3.3%)	33.8%	762 (4.6%)	120.6%

- 建材事業と同様の理由で、事業環境の好転を見込む
- 生産能力が1.5倍に増強されたヨドプレ(株)の新工場（2018年10月竣工）を含む5社6工場で、生産や木造非住宅市場での受注などにおける連携をさらに強化する

主な施策

- 建材事業・加工事業の連携
- プレカット材以外の商材販売
- 建て方工事・元請工事の受注

関西から中四国、九州までをカバー





単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期			
		第2四半期累計 実績	計画進捗率	通期計画	前期比
売上高	7,319	5,132	74.2%	6,914	94.5%
売上総利益	983 (13.4%)	698 (13.6%)	72.2%	968 (14.0%)	98.4%
営業利益	85 (1.2%)	12 (0.2%)	17.4%	69 (1.0%)	81.5%

- 計画外の太陽産業(株)の子会社化により、売上高、営業利益とも予算の大幅な超過達成を見込む
- 環境アメニティ事業の2社間で、仕入・販売などにおけるシナジーを追求する

主な施策

- 営業所・取引先毎のきめ細やかな収益向上施策の展開
- 輸入商材等の新商材の販売
- リフォーム・設備関連工事の工事力強化

単位:百万円、( )内は構成比

	2018年3月期 実績	2019年3月期			
		第2四半期累計 実績	計画進捗率	通期計画	前期比
売上高	5,288	2,495	48.8%	5,113	96.7%
売上総利益	783 (14.8%)	363 (14.6%)	50.0%	726 (14.2%)	92.7%
営業利益	198 (3.8%)	62 (2.5%)	47.1%	133 (2.6%)	67.1%

■ 売上高、営業利益とも、予算達成を見込む

主な施策

DS TOKAI(株)

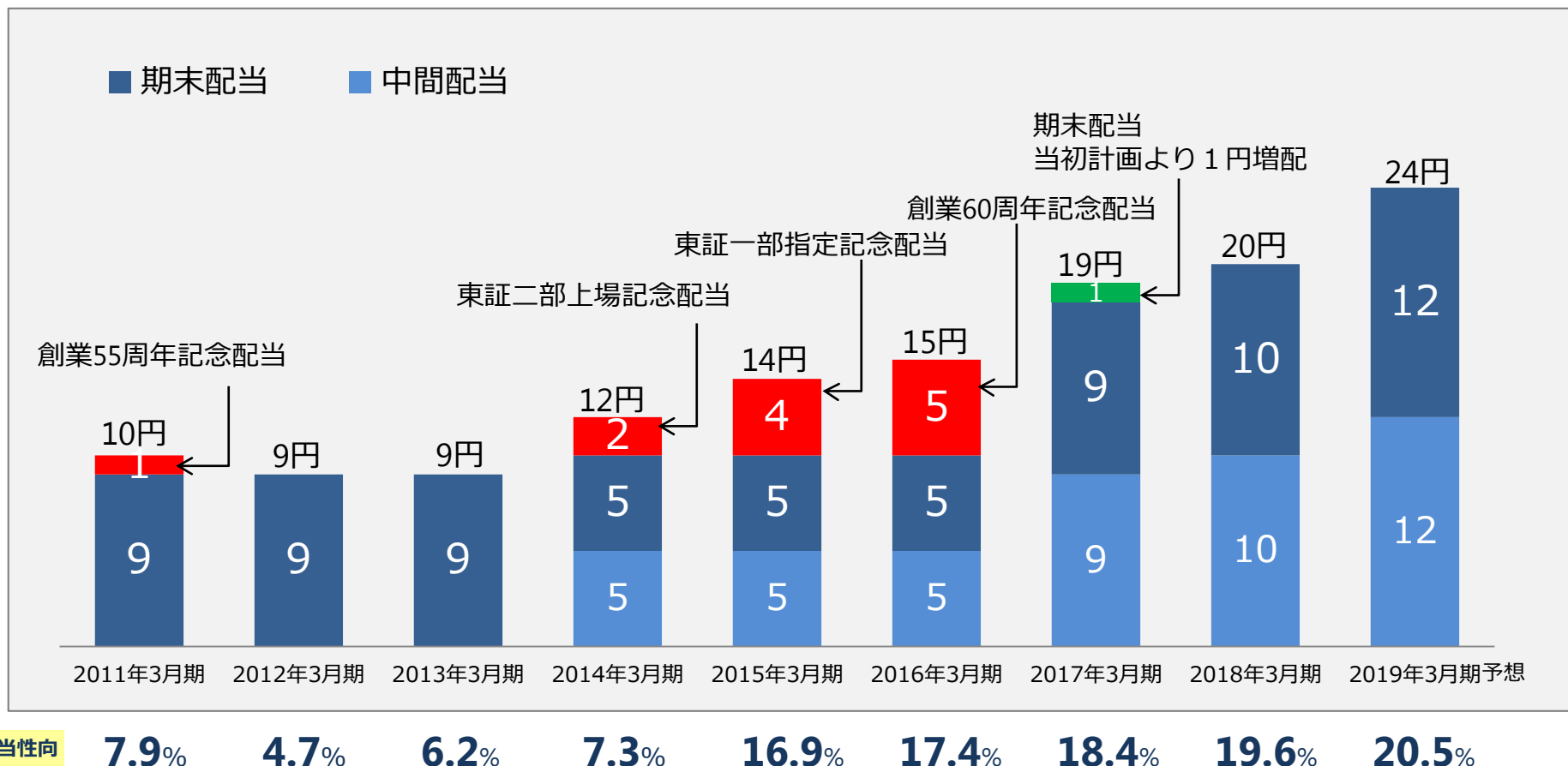
- 建設業における営業力強化
- 安心できる魅力ある介護施設の維持

太平商工(株)

- 新規販売先の開拓
- 他の事業とのシナジー追求

## ■ 配当方針

安定的な配当の維持に努めることに加えて、連結業績を加味した配当を行なうことを基本方針とし、連結配当性向については、**15%**程度を下限とし、**30%**以上を目指すものとします。



配当性向

7.9%

4.7%

6.2%

7.3%

16.9%

17.4%

18.4%

19.6%

20.5%



【連絡先】 OCHIホールディングス株式会社  
【所在地】 福岡市中央区那の津三丁目12番20号  
【TEL】 経営企画部 092-732-8959  
財 務 部 092-711-9173

このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提や見通しに基づく予測が含まれております。  
実際の業績は、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を  
改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

また、本資料のいかなる部分も一切の権利はOCHIホールディングス株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、  
いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。